

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)池田市城南1丁目計画	階数	地上10F
建設地	大阪府池田市城南1丁目111番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	148 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年11月27日
敷地面積	1,023 m ²	作成者	國重 亮
建築面積	546 m ²	確認日	2018年11月28日
延床面積	2,450 m ²	確認者	後藤 輝行

本評価はCASBEE「国内版」を
適用した結果です。CASBEE等を
ご利用の際はご留意ください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 78% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 78% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 78% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.3</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内は、高効率設備やF☆☆☆☆をほぼ全面に採用し、品確法断熱等性能等級4相当に設計し、良好な室内環境に配慮した。</p> <p>品確法劣化対策等級3相当に、空調・給排水配管は主要な用途上位3種はB以上を採用するなど、躯体耐用年数や更新必要間隔が長くなるよう配慮した</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装にはF☆☆☆☆を採用し、カーテン・庇による屋光制御を行いながらも、換気や採光等、室内環境に配慮した</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>躯体耐用年数を品確法劣化対策等級3相当に設計し、空調給排水配管の更新対策間隔も長くなるよう配慮した</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>防犯カメラの設置により防犯性に配慮した</p> <p>道路沿いの敷地には、季節の花をつける木々を配置して敷地内緑化に努め、景観に配慮した環境づくりに配慮した</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明や蛍光灯等、高効率設備機器の採用による設備システムの高効率化を行い、建物熱負荷の抑制に努めた</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型大便器やノンフロン発泡剤(断熱材)を採用し、汚染物質回避に努めた</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>自転車置場を適正に確保し、地域インフラの負担抑制に配慮した</p> <p>広告照明を行わず、光害の抑制に配慮した</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0109

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)池田市城南1丁目計画						
	建設地	大阪府池田市城南1丁目111番						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							